

学校教育目標	学び、考え、共に生きる <input type="checkbox"/> 学ぶことの楽しさを知り、その学びを生かして夢の実現に向けて努力する子供を育てます。 <input type="checkbox"/> 自他の共生を大切にすることで、自らを高める子供を育てます。 <input type="checkbox"/> 健康や体力の向上を図り、心豊かに、たくましく生きる子供を育てます。				
	学校概要 創立 72 周年 学校長 笠原 一 副校長 荻野 弘 学期制 一般学級: 21 個別支援学級: 2 児童生徒数: 751 人 主な関係校: 吉原小学校・桜岡小学校・相武山小学校・南台小学校・下永谷小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<学習の基盤となる資質・能力> ・主体的・創造的に学ぼうとする態度 <現代的な諸課題に対して求められる資質・能力> ・多様性を認め共生しようとする態度 ・たくましく未来を創造する力	・港南中学校 ・吉原小学校 ・桜台小学校	自ら学び、人と豊かに関わり、たくましく未来を創造する子供 ・小中合同授業研や管理職会議を通して、9年間を見通したカリキュラムの編成・実施・評価・改善を行い、主体的・創造的に学ぼうとする児童生徒を育成します。 ・児童生徒の計画的・創造的な交流や協働を通して、多様性を認め、共生しようとする態度・意識を、緩やかに、確実に醸成します。 ・ブロック内で3つのつながりを大切に、9年間のスパイラルな教育活動を展開する中で、たくましく未来を創造する児童生徒を育成します。

中期取組目標	・「全ての教育活動を子供のために」を基本理念とし、学校づくりを進めます。 ・子供一人一人の個性と能力を理解・尊重して、その伸長を図る教育を実践します。 ・誰もが安心と誇りを持って、心豊かに生活できる環境を創造します。 ・子供や保護者、地域社会の要請や信頼に応える学校づくりを進めます。 ・教職員一人一人がその特性や専門性を生かすとともに、相互に連携し、組織的に機能する体制づくりを進めます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 学力向上	①自ら問題を発見しよりよく解決する力を身につけるため、教科等の指導において、主体的で対話的な活動を意図的・計画的に設定します。②市学状などを丁寧に分析し、客観的な根拠に基づいた教育計画や評価計画を策定します。
豊かな心 担当 道徳・人権・生徒会	①「港南中学校人権宣言」の理念や取組を、道徳や生徒会活動を中心とした全ての教育活動を通して学び、共生の意識、人権尊重の意識を醸成します。②その内容を学校説明会や学家地連等様々な場面で発信し、家庭や地域とともに、生徒の健やかな人格形成を支援していきます。
健やかな体 担当 保健体育科・部活動	①保健体育科の授業や部活動等を通して、自らの体や健康を見つめ、生涯にわたって保持促進しようとする態度を育成します。②オリパラ等の機運の高まりを活用し、スポーツに対して「する・見る・支える」の視点から自分なりの思いや考えを持てるようにします。
特別支援教育 担当 特別支援・生徒指導	①特別な支援・配慮が必要な生徒一人一人に寄り添い、それぞれに必要な教育を実現します。全ての生徒がインクルーシブの理念の下、助け合い尊重しあつた活動が展開できるようにします。②センタ－的機能の活用など、他機関等との連携を大切に特別支援教育の充実に努めていきます。
生徒指導 担当 生徒指導・生徒会	①教科等や部活動、あるいは行事における集団活動を通して、自尊感情を高め、規範意識を醸成します。②家庭や他機関と協力しながら不登校生徒の状況改善に全力で取り組みます。
地域連携 学校運営協議会 担当 教務・生徒会	①地域行事等への、生徒・教職員の積極的な参加により、地域とのコミュニケーションの充実に図り、信頼関係を深めます。②港南中学校学校運営協議会を年4回開催し、多角的な学校評価を実現します。
キャリア教育 担当	①1年次は職業講話を聞き、2年次は職場体験をすることで勤労に対する意識を高めます。3年次は自らの進路を決定することで、意思決定能力や人間関係形成能力を醸成し、生きる力を育んでいきます。
いじめへの対応 担当 いじめ防止委員会・生活指導	①毎朝の主任会議で、日々の生徒の動きを共有し、いじめというよりは、いじめの可能性の早期発見を心がけます。そして、いじめと認識した場合は、適切な報告や丁寧な対応を実践します。②「港南中学校人権宣言」の下、生徒及び教職員の人権感覚・意識の向上を図り、自他を尊重する態度を醸成します。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 教務・学年	①キャリアステージと自己目標に応じて、授業力や運営力の向上を図る研修を計画的に実施します。②学年を中心として、教職員相互の指導助言や、互見授業により、組織的なOJTの充実に図ります。③「働き方改革」については、生徒会組織とその指導を担当する教員組織の改編や行事の見直しによる年間活動計画の改善を実現させます。港南中学校独自のグループウェアの活用により、会議の効率化を図ります。